

小平市の基本理念

はぐくみ・支え合い 学びでつながる
小平の人・まち・未来

小平市の教育目標

～自立 小平で基礎を培う～
～共生 小平で共に成長する～
～貢献 市民が小平を育てる～

【教育目標】

知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じて主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

- 自ら考え、進んで実行する人
- 心豊かで思いやりのある人
- 心身ともにたくましい人

特色ある教育の推進

- 1 GIGAスクール構想の推進
- 2 個に応じた支援の充実
- 3 小・中連携教育の推進
特別の教科道徳教育の推進
- 4 不登校生徒ための学習教室（フレック教室・パザパ教室・チャレンジクラス「上水さくら学級」）の充実と指導の工夫

学校経営基本方針

「和」を基盤とした教育活動を展開する学校

（魅力ある学校づくりを推進し、より質の高い教育を目指して）

1 「和」 人間的な心の調和のとれた生徒の育成を目指す

（人権感覚を豊かに、偏見、差別、いじめ、体罰を産まない、見過ごさない、許さない環境の学校）

- ・基本的な生活習慣を大切にし、社会のルールやマナー規範意識を身に付けさせる。
- ・規則や約束事を守り、すすんで学校生活を充実させようとする態度を身に付けさせる。

2 「和み」心穏やかに、楽しく学校に通い、学ぶ、生徒の心身の成長を目指す

（カウンセリングマインドを生かした生活指導で、不登校生生徒や配慮が必要な生徒を育成）

- ・自他共に大切にできる思いやりの心や相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。
- ・生徒一人一人の自己肯定感、自己有用感を高め、協働的な態度を身に付けさせる。また、生命の大切さを繰り返し指導する。

3 「和（環）」PDCAサイクル、ICTを生かした授業改善で学力向上、体力向上を目指す

（学習指導法の工夫に常に取り組み生徒の学力向上、体力向上の実感のある学習）

- ・生徒がICTを活用し主体的に学ぶ姿勢、学習習慣を身に付けさせる。
- ・教職員がGIGAスクール構想を生かICTを活用した授業、学習指導法の工夫に取り組む。

4 「和（輪）」保護者、地域との密接な連携による教育活動の充実を目指す

（コミュニケーションを密にした、教職員との協働による生徒の健全育成）

- ・保護者、地域、福祉、医療との緊密な連携により、生徒の健全育成を目指す。
- ・教職員の協働を意識させ、同僚性を深めながら、主幹教諭を活用した分掌組織対応の充実、主任教諭を活用した生徒指導対応力の強化を図りながら学校全体の教職員の人材育成を図る。

学校教育目標とその実現に向けての取組

「自ら考え、進んで実行する人」の実現を目指して

- ・ICTを活用した効果的な授業
- ・主体的、対話的で深い学びを進める授業
- ・家庭学習、自主学習の充実
- ・『Daily Life』を活用した日常生活の振り返りと生徒理解
- ・「小平これだけは」の活用
- ・生徒の意欲を引き出す委員会活動や実行委員会の指導

「心豊かで思いやりのある人」の実現を目指して

- ・自他のよさを認め合い、居場所のある学級づくり
- ・お互いの違いを認める関係づくり
- ・意見交流のある授業、学級通信
- ・生徒との会話を重視する学習環境
- ・いじめの芽発見と早期解決
- ・青少年赤十字活動、ボランティア活動、地域行事への参加
- ・多様なコミュニケーション

「心身ともにたくましい人」の実現を目指して

- ・新体力テスト結果の活用
- ・課題改善を図る運動の奨励
- ・基本的な生活習慣の徹底（早寝、早起き、朝ごはん）
- ・SNS上水中ルール等の徹底
- ・担任、SC面談等で積極的な生徒理解
- ・ICTを活用した校外学習、宿泊学習の充実

「特色ある教育の推進」のために

- ・SCやSSWを活用した校内支援の充実
- ・キャリア教育、特別支援教育をテーマとした小中連携の推進
- ・主体的に「考え」「議論する」特別の教科道徳の充実
- ・PTA、学校支援・学生ボランティア、地域人材の活用した放課後学習教室の充実
- ・不登校生徒へのきめ細かい支援